

## アドシステムズ

PR

VoIP 音声の即時確認を可能とする  
RTP 音声モニタ

アドシステムズが提供するRTP音声モニタVM-3000。イーサネット上のVoIP状況をリアルタイムに音声モニタし、現場の障害状況を持ち帰るその機能が、今ネットワーク保守部門や研究開発部門から注目を集めている。

わが国ではIP電話が本格的な普及期に入り、エンタープライズ分野ではIP電話の導入率がすでに30%を超えているといわれる。VoIP市場では初期の機器導入フェーズに続く品質評価フェーズが立ち上がりつつあり、VoIPプロトコルアナライザやVoIP音声品質評価ツールなどさまざまな品質評価ツールが市場に投入されている。

アドシステムズのRTP音声モニタVM-3000は、RTP音声セッションの転送品質をチェックするためのハードウェアベースのツールであるが、イーサネット上を流れるVoIP音声セッションをその場で音声モニタにより確認するという点で、非常にユニークな製品である。さまざまな試験器を通信試験市場に投入してきた同社の実績を基に、音は音で確認するという基本コンセプトを実現している。

パーソナル向けVoIP-TAライクな極めてコンパクトな外形の本体では、リアルタイム音声モニタとともにRTP音声パケットのジッタ値、ロス率などの測定を行い、またモニタ中のRTP音声セッションをパケットの障害状況とともに本体内のメモリに記録することができる。本体上ではこれら測定値の簡易確認を行うことができるが、本体をUSBにてPCと接続すると、PC上のアプリケーションによりPC画面でジッタ、パケットロス、音声レベルをグラフ表示で確認することができる。PCによるグラフ表示はリアルタイムモニタ時とメモリに記録したデータの再生時、どち

らにも有効なため、本体のみで現場記録を行い、持ち帰ったデータの確認をPC上で行うといった応用が可能となる。本体上ではRTP音声セッションが自動的に検出されるため、障害状況をその場で、簡単に確認するには大変有効なツールであるといえる。

フィールドでの応用以外でも、RTP音声セッションが実際に転送されているかどうか、またその音声レベル等が極めて簡単にチェックできることに着目し、VM-3000を研究開発部門にて活用する例も増えている。

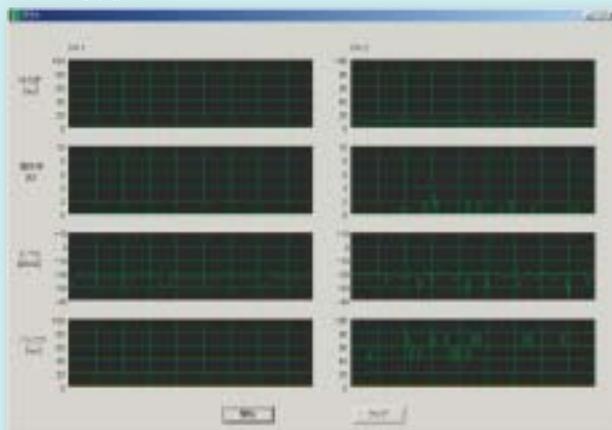
### 各種のVoIP試験を提供

アドシステムズでは他にも、各種のVoIP試験ツールを用意している。IPパケット障害付加や各種サーバを実装するVoIP-1000はVoIPネットワークシミュレータであり、VoIP機器やクライアントの耐障害性評価検証に使用される。C-Catcherはレベル周波数特性やラウドネス定格測定など、VoIP端末の通話特性を評価する評価装置であり、CIA(情報通信ネットワーク産業協会)の電話機通話品質標準規格の制定に



VM-3000外観

グラフ表示画面



伴い注目を集めている。IPネットワークやSIPサーバに対する過負荷試験のためには、SIPジェネレータBob SIPが用意されている。

またこれら試験器の技術を応用したシステムとして、IPコンタクトセンタなどの通話録音を行うVoIP音声録音システム、SuperMouseも提供している。

#### お問い合わせ先

#### 株式会社アドシステムズ

東京都立川市羽衣町2-11-12

TEL 042-523-8661

URL <http://www.adsystems.co.jp>